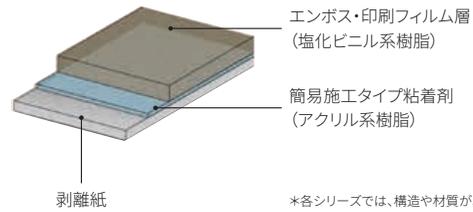


特長

素材	塩化ビニル系樹脂	形状	1,220mm×50m ロール状 ただし、一部上記以外のサイズの製品もごございますので、各製品ページ記載のロールサイズをご確認ください。
厚さ	約0.2mm (剥離紙は除く)	重さ	約20kg以上 (50m巻き製品の梱包材を含めた重さ)

3M™ ダイノック™ フィルムは粘着剤付き化粧フィルムです。



*各シリーズでは、構造や材質が異なります。

技術データ

■ 一般物性

分野	評価方法	結果
寸法安定性	200mm×200mmのアルミニウム板に貼り付けた150mm×150mmのフィルムの中央に、100mm×100mmのクロスカットを入れ、65°Cに2日間放置した後、クロスカット部の最大隙間を測定。	0.3mm
耐摩耗性	JIS K7204の規定に準拠した摩耗試験（摩耗輪CS-17、1kg）を実施し、7000回転後の外観を確認。	色柄の消失なし
耐熱性	アルミニウム板に貼り付け、65°Cに連続30日間放置後の剥離の有無を確認。	剥離などの異常なし
耐ヒートサイクル性	アルミニウム板に貼り付け、規定温度範囲（-30°C～80°C）内で14日間放置後の外観変化、剥がれや変色を確認。	剥離などの異常や著しい変色なし
耐湿性	アルミニウム板に貼り付け、40°C、湿度95%に連続30日間放置後の剥離の有無を確認。	剥離などの異常なし
耐低温衝撃性	1mm厚のアルミニウム板に貼り付け、ガードナー衝撃試験機を用い、5°Cの環境下で907gの重りを12.7cmの高さから落下。	フィルムの割れ発生せず

■ 抗菌性能

JIS Z 2801 (抗菌性試験)

	抗菌活性値
大腸菌	2.0以上
黄色ブドウ球菌	

- ・抗菌活性値が2.0以上の場合に抗菌効果があると判断されます。
- ・上記の抗菌試験結果はPSシリーズ (PS-1183およびPS-AR、PS-MT、PS-SRを除く) のものです。PS以外のシリーズは抗菌性を有しません。

■ 耐溶剤・耐化学薬品性

アルミニウム板またはアクリル板に貼り付け、各薬品に所定時間浸漬し、目視で状態を評価する。

分類	薬品	浸漬時間	結果
水	水	24時間	異常なし
酸	塩酸 (10%)	24時間	異常なし
塩基 (アルカリ)	水酸化ナトリウム (10%)	24時間	異常なし
アルコール系	エタノール	24時間	異常なし
エステル系	酢酸エチル	5分	変質および基材からの剥離
ケトン系	メチルエチルケトン	5分	変質および基材からの剥離
芳香族系	トルエン	5分	変質および基材からの剥離

塩化ビニル製の壁紙への表示 (∞PVCマーク) について

塩化ビニル製の壁紙は、経済産業省「資源の有効な利用の促進に関する法律」において、「指定表示製品 (分別回収のための表示を求める製品)」に指定されており、その法律の規定に基づいた経済産業省令第九十四号により、表示の標準となるべき事項が定められています。

■ 1. 製品について

- 以下のように製品に∞PVCの表示をしています。

	3M™ ダイノック™ フィルム全般	3M™ 玄関ドアリフォームシート
指定表示品目の分類	塩化ビニル製の壁紙	
表示方法	製品の粘着剤面	
表示	∞PVC	
色	薄い黄色	
大きさ	1文字が10～20mm	
位置	幅方向	端部より約200mm以内の場所に一箇所
	長さ方向	端部より約100mm以内の場所に一箇所
	600～800mm間隔毎	

■ 基材への接着力

分野	基材	接着力 N (25mm幅)	
		プライマーなし	プライマー塗布 (DP-900N3)
木材	シナベニヤ	6	24
	MDF	12	20
無機系ボード類	石膏ボード	10	14 *1
	ケイ酸カルシウム板	12	22
金属板類	メラミン焼付鋼板	21	31
	電気亜鉛めっき鋼板	35	31
	塩ビ鋼板	42 *2	38
	アルミニウム	31	—
プラスチック	ステンレス	32	—
	アクリル	30	30
	ABS	24	36
無機系	メラミン化粧板	20	31
	ポリエステル化粧板	28	39
ガラス	モルタル	33	39
	ガラス	28	—

幅25mm、長さ180mmの帯状のフィルム切片を各基材に貼り付け、20°Cで48時間放置。その後、引張試験機を用い、引張速度300mm/分、180°方向に引き剥がす。プライマー塗布条件は20°C・乾燥時間1時間。

*1 基材の紙の凝集破壊

*2 塩ビ鋼板はプライマー処理しなくても初期接着力が充分であるが、経時と共に接着力が低下するのでプライマーを塗布すること。

■ 耐汚染性

表面に以下の物質を24時間接触後、水またはアルコールで拭き取った後の表面の光沢差/色差を観察する。

分類	汚染物質	結果	分類	汚染物質	結果
食品系	コーヒー	◎	薬品系	塩水 (1%)	◎
	紅茶	◎		石鹼水 (1%)	◎
	コーラ	◎		アンモニア水 (10%)	◎
	牛乳	◎		過酸化水素水 (3%)	◎
	赤ワイン	◎		クエン酸水溶液 (10%)	◎
	タバスコ®ペッパーソース *1	×		ホルマリン (36%)	◎
	ケチャップ	◎		エチルアルコール (50%)	◎
	醤油	◎		油性マーカー	×
	オレイン酸油	◎		クレヨン	△
	食酢	◎		靴墨	×
日用品 *2			カラートリートメント	×	
			タールリック	×	

◎：水拭き後に異常がない

○：アルコール拭き後に異常がない

△：若干異常がある

×

*1 タバスコ®はマキルヘニー社の登録商標です。

*2 日用品は種類によって結果が異なりますのでご注意ください。



施工時には、ガラスに貼って施工後に粘着剤が見える場合や、光を透過させるような納まりの場合など、意匠上問題ないか事前にご確認ください。

* 次に示す製品は対象外です。

3M™ ダイノック™ プロテクトフィルム、3M™ ホワイトボードフィルム WH-111、3M™ ダイノック™ 吸音フィルムG、3M™ ダイノック™ デザインガラスフィルム、3M™ ダイノック™ フィルム ネオシリーズ (タイル壁用・床用)

* 印字の仕様につきましては予告なく変更することがございますので、あらかじめご了承ください。

施工環境

施工温度範囲:12℃～38℃

- 低温時には、温風ヒーターなどを使用して、下地基材やフィルムの温度を上げてください。温度が低いと接着不良が生じたり、施工後にフィルムがふくれる場合があります。
- 角Rにフィルムを折り曲げて貼った場合、製品によって角R部分が白くなる場合があります。貼る際にはドライヤーで暖めながら貼るか、貼った後に暖めてください。低温時にはフィルムが裂けやすくなりますので、カットする際の取扱いにはご注意ください。
- 高温時にはフィルムがより柔軟になり、施工しにくくなる場合があります。

照明

- 必要に応じて投光機などを使用して、明るい場所で施工してください。照明が暗い場合、下地基材とフィルムとの間の異物混入や気泡を見逃す恐れがあります。

環境

- ほこり、ちりなどが少ない場所で行ってください。施工する面のみでなく、床の清掃を行ってから施工してください。
- 空気が乾燥して静電気が発生しやすい場合は、床に霧吹きなどで水をふきかけてください。

施工後の環境

- 軒下や軒天は屋外ですので、☀️印(お日様マーク)のついた品番をご使用ください。屋内であっても日光の影響を受ける場合は、☀️印のついた品番を選定してください。
- 常時50℃以上となる場所や、水中・湿度が高い場所への施工は避けてください。
- 浴室への施工は3M™ ダイノック™ フィルム ネオンシリーズをご使用ください。

屋外での貼り付け

- 下記に記載した情報は参考情報で、保証するものではありませんのでご了承ください。
- ダイノック™ フィルムは原則として内装用途にお使いください。屋外で使用する場合、ダイノック™ フィルム EXシリーズまたは、色柄見本の☀️印の製品からお選びください。
 - ダイノック™ フィルム EXシリーズは、屋外の垂直面で約10年の耐候性を有する製品です。アルミニウム下地を推奨し、屋外の様々な用途でご使用いただけます。選定・施工にあたっての注意事項はP27～30を参照ください。
 - ☀️印の品番は垂直面に使用した場合、色の褪色、変色について3～5年の耐候性を有します。傾斜面や水平面に使用した場合の耐候年数は、垂直面の場合よりも短くなります。
 - ☀️印の製品は、屋外に面した塩ビ鋼板下地に使用すると変色する場合がありますので、使用しないでください。☀️印の製品は変色の心配はありませんので、安心してお使いください。
 - 端部または貼り付け基材側から水分が入り込むと、接着不良を起こす恐れがあります。金属等の含水しない下地を選択してください。水平面など継続して表面に水が溜まる部位や形状では、短い期間で劣化が進む場合があります。
 - 木やケイ酸カルシウム板、石膏ボード、スレート等窯業系などの含水する下地では、施工後ふくれや剥がれ、変色が発生する場合がありますので使用しないでください。

施工場所

塩ビ鋼板製ドアへの貼り付け

- 屋外に面した塩ビ鋼板製ドアへの施工は、専用に開発された3M™ 玄関ドアリフォームシートを使用してください。
- エンボスの深い塩ビ鋼板に重ねて貼る場合、接着面積が少なくなるので下地処理にご注意ください。

ゴムと接触する場合

- カウンター、天板、トイレブースなどの用途にダイノック™ フィルムを使用した場合、機器の足や戸当りのゴムなどが長時間接触すると、ゴムの材質によってはダイノック™ フィルムが変質する恐れがあります。

重ね貼り

- 重ね貼りした場合、不燃材料とはなりません。
- 必ずダイノック™ フィルム表面に3M™ プライマー DP-900N3を塗り、十分に乾燥してから貼ってください。
- エンボス、機能製品によっては重ね貼りしにくいものがありますので、P27～30の「シリーズ別 選定・施工にあたってのご注意」を参照してください。
- ARシリーズ、MTシリーズ、EXシリーズの上に重ね貼りする場合、サンドペーパーでフィルム表面をサン

ディングしてから、DP-900N3を塗布してください。

下地の色

- 製品によっては、下地の色が透け意匠に影響を与える場合がありますので、ご使用の際には十分ご注意ください。

テープなどを貼る場合

- 粘着テープ、養生テープなどをフィルム表面に長時間貼ったままにしないでください。テープの粘着剤がダイノック™ フィルムの塩ビに含まれる可塑剤の移行により軟化し、べた付いて、きれいに剥がせなくなる場合があります。

製品仕様

- カタログ掲載のチップサイズでは、全体の仕上がりイメージと異なる場合があります。サンプルを別途ご請求の上ご確認ください。特に大柄のものは、色柄や突き合わせができるかなどを含めて、当社Webサイトに掲載の画像データなどでご確認ください。
- 製造上の理由により柄・エンボス柄のピッチが多少ずれる場合があります。突き合わせ貼りを行う際は柄合せが難しいので、事前に柄合せのズレの程度を確認してください。
- 横柄や大柄のものは、フィルムの繋ぎ箇所で連続して見えません。サンプルなどで状態をご確認の上、製品および施工方法をご選定ください。
- ダイノック™ フィルムは、裏面剥離紙ロゴを同じ方向に合わせて貼り付けるのが標準です。フィルムの裁断位置により突き合わせ部の左右の色の濃さが極端に異なる場合がありますので、裁断位置や貼る方向にご注意ください。なお、エンボスには微妙な方向性があります。逆方向に貼ると光線の加減で色違いに見える場合がありますのでご注意ください。
- 施工の際は、裏面剥離紙ロゴにより柄の天地方向を確認してください。
- ダイノック™ フィルムは、製造工程で厳重な品質管理を行っていますが、ロットにより多少の差異が生じることがありますので、異なったロットを同じ面に使用しないでください。
- ダイノック™ フィルムは、ロールの途中にスプライス(つなぎ目)が入る場合があります。

施工時の注意事項

- ロールからフィルムをカットしたり、巻きなおしたりする際、フィルム表面に傷がつかないように、作業台に低摩耗性のテープを貼ったり床を養生するなどしてください。
- ロールからフィルムを巻きだして平面状にすると、剥離紙とフィルムが剥がれることがありますのでご注意ください。
- 裁断後のフィルムの一時保管は、ロール状にして端部をテープで止めて立ててください。裁断したフィルムを引きずったり、表面を直接床につけないでください。表面に傷が付いたり、破損する恐れがあります。
- 突き合わせ貼りした場合、施工後に隙間が生じる場合があります。特に濃色フィルムの場合は隙間が目立つことがありますので、フィルム施工に先立って突き合わせとなる部分の下地にフィルムと同系色の色を塗っておくことをおすすめします。隙間の発生を軽減させるために、突き合わせ部の下地基材にはプライマーを2度、または3度塗ってください。また、フィルムを重ね裁ちする際、下地基材を切らないようにご注意ください。
- 施工後のフィルムに力が常時加えられる場合、フィルムにシワが発生する場合がありますので、フィルムに力が加わらないようにしてください。特にドアノブ周りにフィルムを貼り付ける場合はご注意ください。施工後のフィルムをヘアドライヤーなどで暖めて、接着力を上げるようにするとシワの発生を軽減できる場合があります。
- 剥離紙や端材などを床に放置しないでください。踏んだ場合、転倒する恐れがあります。
- フィルムを繋いで施工する方法は、突き合わせする方法と重ねる方法があります。重ね貼りできない品番では突き合わせてください。繋いで施工する方法について事前にお打ち合わせのうえ施工してください。

施工後の注意事項

- 接着力は施工してから徐々に上昇し、3～7日で最大強度に到達します。
- 端材などを廃棄する場合、『廃棄物の処理及び清掃に関する法律』に従い、許可を受けた産業廃棄物業者に処分を委託してください。

保管・輸送の注意事項

- 製品の保管・輸送の際にはカートン(フィルムロール梱包箱)のラベル側を揃えて積み重ねてください。その際は、6段以上積み重ねたり、パレットの2段積みをしてください。
- 輸送の際には、カートンを落とさないでください。端部が割れることがあります。
- 製品の保管は、直射日光や高温多湿な環境下を避け、周囲温度38℃以下の清潔な場所に保管し、購入後1年以内に使用してください。
- 残材は購入時と同様の梱包形態にし、上記条件にて保管してください。
- ダイノック™ フィルムを使用後、残ったフィルムを保管する際には、必ずフィルムの緩みがないように手で巻きを締めたのちテープ止めて、フィルムの巻きが緩んでこないように注意してください。フィルムを緩めて保管しておきますと、剥離紙とフィルムに剥離が発生する場合があります。

その他

- ダイノック™ フィルムは、製品改良等のため予告なく仕様を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 製品によっては、その他の詳細な注意を製品説明書および取扱説明書でご用意しているものがあります。当社Webサイト(<http://www.mmm.co.jp/cmd/dinoc/attention/>)に掲載しておりますので、ご確認ください。

清掃・剥離方法

清掃方法

- 付着した汚れはすみやかに除去してください。洗浄剤は市販の中性洗剤、もしくは3M™ クリーナー20をご使用ください。(強アルカリ性洗剤、強酸性洗剤またはシンナー等、有機溶剤のご使用は避けてください。)
- 清掃は柔らかい布、スポンジ等をご使用ください。研磨剤の入ったスポンジは絶対に使用しないでください。
- 清掃後、ダイノック™ フィルム表面に残った洗浄剤は水拭きできれいに除去してください。

剥離方法

ダイノック™ フィルムは貼り付け後、時間が経過するに従って剥がしにくくなります。剥離する必要がある場合は下記の手順で行ってください。

剥離時の注意事項

- 剥がさずに上から重ねてダイノック™ フィルムを貼ると、不燃材料になりませんのでご注意ください。
- 石こうボード、ケイ酸カルシウム板、ベニヤ板等の下地に貼ったダイノック™ フィルムは、下地を傷つけないに剥離することはできません。

剥離手順

- ①下地を傷めないように注意しながら、ダイノック™ フィルムに20cm程度の間隔で切れ目を入れてください。
- ②ヘアドライヤーでダイノック™ フィルムを温め、軟化させてください。
- ③切れ目を入れたダイノック™ フィルムを短冊状に剥がして行ってください。
- ④剥がした後、下地に粘着剤が残る場合があります。残った粘着剤はシンナー、もしくは3M™ アドヒージブリーパーR231、3M™ クリーナー20、3M™ クリーナー30を使用して取り除いてください。取り除いた後も、下地によっては貼り跡が残る場合があります。

シリーズ別 選定・施工にあたってのご注意

① 基材表面の平滑性注意

基材表面の平滑性が仕上がりに影響を与えます。充分な下地調整を行い、ゴミなどの付着物を完全に除去してから貼り付けてください。基材には焼付塗装鋼板等、平滑な下地をお選びください。石膏ボード、ケイ酸カルシウム板などをお避けください。

② フィルム表面のキズつき注意

フィルム表面に摩擦力が働くと、キズがつきやすいのでご注意ください。フィルムの貼り付けは、やわらかい布を巻いたスキージーで圧着してください。硬いもの（やわらかい布を巻かないスキージーなど）で圧着すると、フィルム表面を傷つける場合があります。スキージーに巻いたやわらかい布が摩擦したり汚れが付着した場合は新しい布に巻き換えて使用してください。

③ 突き合わせ時、柄合わせ注意

製造上の都合により、柄・エンボス柄のピッチが多少ずれる場合があります。突き合わせ貼りを行う際は柄合わせが難しいので、事前に柄合わせのズレが許容できるか確認してください。大柄、横柄、抽象柄などの理由で、突き合わせ部の柄が一致せず連続したように見えません。事前に突き合わせ部の見え方を大判のサンプルなどで確認のうえ施工するか、突き合わせ貼りを避け、目隠し貼りや目地棒を使用することをお勧めします。

代表的な注意事項 (各項目の詳細についてはページ上部を参照ください)

シリーズ名	サンプルブック掲載ページ	① 基材表面の平滑性注意	② フィルム表面のキズつき注意	③ 突き合わせ時、柄合わせ注意	④ 突き合わせ後、反射光による左右差注意	⑤ 施工後の照明環境注意	⑥ 重ね貼り注意	⑦ 大面積施工時のエンボス周期性注意
FW	▶ p.15~23			● FW-791 など	●		● FW-1757	
FW-H 横柄 / WG-H 横柄	▶ p.15~23, 25~26, 29			●	●			
MW	▶ p.24	●	●					
ワイピング木目  WG-156, WG-157, WG-166	▶ p.25, 29~30			●				
WG-1070, WG-1071 WG-1812	▶ p.25~26, 30			● WG-1070, 1071	● WG-1812			
WG-GN グロス	▶ p.28	●	●			●		
SI	▶ p.39			●	●	●		●
NU	▶ p.38~39			●	●	● NU-1795, 1796, 1797	● NU-1795, 1796, 1797	● NU-1795, 1796, 1797
FE	▶ p.36, 38			●	● FE-1733, 1966, 1967		● FE-801, 804, 805, 813	●
FA	▶ p.33, 36, 39~40, 44			● ※1	● ※1			
HS	▶ p.44			●				
AE	▶ p.32, 40~41			●	●			
RT	▶ p.33			●	●			
ST	▶ p.41			● ST-1195, 1586, 1587, 1588, 1831				
CN	▶ p.40			●	●			
PC	▶ p.42				●			
SE	▶ p.42		●					
ET	▶ p.35	●		●	●			
AM	▶ p.32	●		●	●	●	● AM-1696, 1699, 1700, 1701, 1722	● AM-1697, 1698, 1702, 1720, 1721
CH	▶ p.34	●		●	●			● CH-2116, 2117, 2118, 2119, 2120
VM	▶ p.32~36, 45	●		● VM-1691, 1692, 1693, 2034, 2035, 2036, 2090	● VM-2037, 2038, 2039, 2121, 2122	●		● VM-2121, 2122
ME / PA	▶ p.32~35	●		● ME-1961, 2020, 2022, 2023, 2024, 2025, 2026, 2027	●			
TE / CA	▶ p.32, 44~45	●	●	●	● CA-418, 420, 422		● CAのみ	● TE-1690
RS	▶ p.44	●	●	●			●	
HG	▶ p.45	●	●			●		
LW	▶ p.44	●	●	●	●			
BW	▶ p.44	●	●		●	●		●
LE	▶ p.43		● LE-1226, 1228, 1229, 1231, 1551, 1552		● LE-1171	● LE-1171	● LE-1104, 1105, 1106, 1108, 1109, 1226, 1228, 1229, 1231	●
PS	▶ p.46~47		● PS-1183		● ※2			
LZ	▶ p.42							
PG	▶ p.42							
PT	▶ p.42							

④ 突き合わせ後、反射光による左右差注意

突き合わせ貼りの際、反射光により左右の色が異なって見えることがあります。事前に程度をご確認のうえ施工されるか目地どりをしてください。ロットによりばらつきが生じる場合がありますので同一ロットでご確認ください。

⑤ 施工後の照明環境注意

施工後のフィルムへの光の照射具合によって、表面に細かなキズやムラが見える場合があります。特にダウンライトなどの指向性のある照明の場合、細かいキズが目立ちやすくなります。

⑥ 重ね貼り注意

表面エンボスが粗いため、重ね貼りは避けてください。

⑦ 大面積施工時のエンボス周期性注意

表面エンボスの周期性が柄グセのように見える場合があります。特に大面積への施工、ダウンライトやスポットライトが当たる場所への施工はご注意ください。

その他

・フィルム表面に特殊な加工をしていますので、施工の際は突き合わせ貼りを避け、目透かし貼りもしくは目地棒をご使用ください。

・WG-1070、1071は色の濃淡により、横方向で柄が筋状に見えるため、突き合わせ部の柄が一致せず連続したように見えないことがありますのでご注意ください。

・施工後のフィルム表面の清掃はやわらかい布を用いて、水拭きまたは中性洗剤を使用してください。硬い布や有機溶剤は表面を傷つけたり変質したりする場合がありますので、使用しないでください。

・裏面剥離紙ロゴと施工箇所の天地を合わせて施工してください。

・❶ 三次曲面へ施工の際はご注意ください。(NU-1795、1796、1797は除く)
・NU-1795、1796、1797は、裏面剥離紙ロゴと施工箇所の天地を合わせて施工してください。

・❶ 三次曲面には施工しないでください。また、貼り剥がしや、エッジ部の施工、冬場の施工時には注意してください。過剰に引き伸ばすと、フィルムが裂けることがあります。

※1 対象となる品番は、FA-592、1094、1156、1161、1163、1164、1166、1167、1530、1531、1962です。

・見る角度、光の当たる角度、貼付下地の形状などによって、色味が変わる特徴をもった製品です。・強く折り曲げると、表面に折れジワがついてしまいます。施工上の取り扱いには十分にお気をつけください。
・ETシリーズは、他の製品よりも切断面が目立つ場合があります。

・貼り直しなどの作業は接着剤とフィルム間に剥離を起こしやすいので避けてください。・シートを過剰に引き伸ばすと、色調、模様にもムラが生じることがあります。❶ 三次曲面へ施工の際はご注意ください。
・強く折り曲げると、表面に折れジワがついてしまいます。施工上の取り扱いには十分にお気をつけください。
・アクリル、ABSに施工する場合は、アウトガスによって膨れが生じる可能性がありますので予めご注意ください。
・AM-1697、1702、1721は、裏面剥離紙ロゴと施工箇所の天地を合わせて施工してください。
・端部に湿気が継続して触れた場合や、清掃の際に酸性やアルカリ性の洗剤を用いてフィルムの端部に触れた場合、フィルムが変色する場合がありますので、フィルムエッジにシーリング材を塗布して保護してください。使用するシーリング材はポリイソブチレン系を推奨します。変性シリコン系は不具合を生じることがあるため推奨しません。

・貼り直しなどの作業は接着剤とフィルム間に剥離を起こしやすいので避けてください。・シートを過剰に引き伸ばすと、色調、模様にもムラが生じることがあります。❶ 三次曲面へ施工の際はご注意ください。
・アクリル、ABSに施工する場合は、アウトガスによって膨れが生じる可能性がありますので予めご注意ください。
・端部に湿気が継続して触れた場合や、清掃の際に酸性やアルカリ性の洗剤を用いてフィルムの端部に触れた場合、フィルムが変色する場合がありますので、フィルムエッジにシーリング材を塗布して保護してください。使用するシーリング材はポリイソブチレン系を推奨します。変性シリコン系は不具合を生じることがあるため推奨しません。

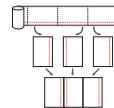
・フィルムに荷重がかかると押し痕がつくことがありますのでご注意ください。
・TE-1690は、ダウンライトやスポットライトが当たる場所で大面積に施工すると柄グセが見える場合がありますのでご注意ください。裏面剥離紙ロゴと施工箇所の天地を合わせて施工してください。

・フィルムに荷重がかかると、押し痕がつくことがありますのでご注意ください。
・付着した汚れはすみやかに除去してください。エンボス溝に汚れが入り込み落ちにくくなります。清掃は3M™ダイノック™ フィルムの清掃方法に従ってください。(P26参照) ❶ 三次曲面に施工する際はご注意ください。ただか、施工を避けていただく製品です。

・屋外、高温多湿な場所、収縮する基材(MDFなど)、❶ 三次曲面には施工しないでください。
・フィルムに伸縮性がないので、ひずみが生じたりシワを伸ばして貼り付けると、時間とともに筋状に膨れてくる場合がありますので、貼り始めの位置決めを正確に一回で行ってください。
・貼り剥がし作業はフィルムに折れジワが発生しますので避けてください。
・曲げシロは6mm以上とってください。それより短い場合、施工後に浮いてくる可能性があります。
・突き合わせ貼りの際、突き合わせ部が線状に目立つことがあります。事前に確認のうえ施工されるか目地どりをしてください。
・アクリル、ABSに施工する場合は、アウトガスによって膨れが生じる可能性がありますので予めご注意ください。
・フィルム表面の指紋などの汚れは高光沢のため目立ちますが、布で乾拭きまたは水拭きすれば除去できます。

・フィルムに荷重がかかると、押し痕がつくことがありますのでご注意ください。

・❶ 三次曲面へ施工の際はご注意ください。
・光の当たる角度によって僅かな光沢むらが発生することがありますので、隣合わせになるフィルムは同一エッジに合わせてください。(右図)
・フィルムに荷重がかかると、押し痕がつくことがありますのでご注意ください。



・LE-1552は❶ 三次曲面貼りなどで過剰に引き伸ばすと、フィルムが裂けることがあります。

・PS-1183は艶消しの風合いを出すため表面に特殊樹脂を使用していますので、他のシリーズに比べキズ、耐汚染性が劣ります。頻繁に人の手が触れる用途、飲食店等のご採用はお控えください。
※2 対象となる品番は、PS-107、110、140、292、293、294、504、668、885、948、992、1005、PS-1183です。

シリーズ別 選定・施工にあたってのご注意

① 基材表面の平滑性注意

基材表面の平滑性が仕上がりに影響を与えます。充分な下地調整を行い、ゴミなどの付着物を完全に除去してから貼り付けてください。基材には焼付塗装鋼板等、平滑な下地をお選びください。石こうボード、ケイ酸カルシウム板などをお避けください。

② フィルム表面のキズつき注意

フィルム表面に摩擦力が働くと、キズがつきやすいのでご注意ください。フィルムの貼り付けは、やわらかい布を巻いたスキージャーで圧着してください。硬いもの(やわらかい布を巻かないスキージャーなど)で圧着すると、フィルム表面を傷つける場合があります。スキージャーに巻いたやわらかい布が摩擦耗したり汚れが付着した場合は新しい布に巻き替えて使用してください。

③ 突き合わせ時、柄合わせ注意

製造上の都合により、柄・エンボス柄のピッチが多少ずれる場合があります。突き合わせ貼りを行う際は柄合わせが難しいので、事前に柄合わせのズレが許容できるか確認してください。大柄、横柄、抽象柄などの理由で、突き合わせ部の柄が一致せず連続したように見えません。事前に突き合わせ部の見え方を大判のサンプルなどで確認のうえ施工するか、突き合わせ貼りを避け、目透かし貼りや目地棒を使用することをお勧めします。

代表的な注意事項 (各項目の詳細についてはページ上部を参照ください)

シリーズ名	サンプルブック掲載ページ	① 基材表面の平滑性注意	② フィルム表面のキズつき注意	③ 突き合わせ時、柄合わせ注意	④ 突き合わせ後、反射光による左右差注意	⑤ 施工後の照明環境注意	⑥ 重ね貼り注意	⑦ 大面積施工時のエンボス周期性注意	
DW-MT	▶ p.8~9		●	● DW-1900HMT		●			
NU-MT	▶ p.13		●	● NU-1934MT, 1935MT, 1936MT, 1937MT, 1938MT, 1942MT, 1943MT	● NU-1934MT, 1935MT, 1936MT, 1937MT, 1938MT, 1942MT, 1943MT	●	●		
AE-MT	▶ p.12		●	● AE-1926MT, 1928MT, 1929MT, 1930MT, 1944MT, 1959MT, 1960MT		●			
ST-MT	▶ p.13		●	● ST-1912MT, 1914MT, 1918MT, 1920MT, 1927MT		●			
VM-MT	▶ p.11	●	●	● VM-1862MT	●	●			
PS-MT	▶ p.11, 46					●			
FW-AR	▶ p.18, 48				●	●			
FW-HAR	▶ p.48			●	●	●			
WG-AR	▶ p.48					●			
FA-AR	▶ p.48			● FA-1530AR	● FA-1530AR	●			
AE-AR	▶ p.48			●	●	●			
ST-AR	▶ p.48			● ST-011AR					
SE-AR	▶ p.48								
CH-AR	▶ p.48	●		●	●				
ME-AR/PA-AR	▶ p.48	●			●				
PS-AR	▶ p.48				● PS-006AR, 007AR, 008AR				
PT-AR	▶ p.48								
PWF-500	▶ p.49	●	●			●			
WH-200	▶ p.49	●	●			●			
WH-111	▶ p.49	●	●			●			
IWB-600	▶ p.49	●	●			●			
SR	▶ p.50								
OA	▶ p.50		●			●			
IL	▶ p.50								
DPF-100	▶ p.50	<ul style="list-style-type: none"> ・貼り付け下地は機能製品およびMTシリーズを除く3M™ダイノック™フィルムのみとなりますので、ご注意ください。 ・ウレタン製フィルムに感圧型接着剤が塗布してありますので、ライナー紙を剥がして圧着してください。 ・ダイノック™フィルムに直接貼り付けてください。その場合、再剥離が可能です。(プライマーは塗布しないでください) ・汚れが付着した場合は中性洗剤をご使用ください。なお、シンナー等の有機溶剤は、フィルムを変質させる場合がありますので使用しないでください。 ・このフィルムを貼ると下地のフィルムの色・質感が違って見えます。事前にご確認ください。 							
DR	▶ p.50	<ul style="list-style-type: none"> ・本製品は玄関ドアのリフォーム専用開発された製品です。・貼付けは、塗装鋼板、塩ビ鋼板、アルミ板の扉に行ってください。 ・直接日光や雨が当たる木質系のドアに施工した場合、ふくれが発生することがありますので、施工しないでください。 							
EX	▶ p.49	<ul style="list-style-type: none"> ・低温環境では、折れジワや裂け、フィルムの折曲げ部分の白化が発生しやすくなります。屋外で施工の場合、作業環境にはご注意ください。 ・他のシリーズに比べ、フィルムが裂けやすく、また折れジワがつきやすいのでご注意ください。特に施工時のフィルムの貼り剥がし、カッターによる切り込みを行う場合に注意が必要です。切り込みがキッカケとなりフィルムが裂けてしまうことがあります。 ・屋外耐候性に優れた製品ですが、傾斜面や水平面などでご使用の場合は、フィルムの劣化が早まる場合があります。また、アルミニウム以外の下地でご使用の場合も劣化が早まる場合があります。 							

④ 突き合わせ後、反射光による左右差注意

突き合わせ貼りの際、反射光により左右の色が異なって見えることがあります。事前に程度をご確認のうえ施工されるか目地どりをしてください。ロットによりばらつきが生じる場合がありますので同一ロットでご確認ください。

⑤ 施工後の照明環境注意

施工後のフィルムへの光の照射具合によって、表面に細かなキズやムラが見える場合があります。特にダウンライトなどの指向性のある照明の場合、細かいキズが目立ちやすくなります。

⑥ 重ね貼り注意

表面エンボスが粗いため、重ね貼りは避けてください。

⑦ 大面積施工時のエンボス周期性注意

表面エンボスの周期性が柄グセのように見える場合があります。特に大面積への施工、ダウンライトやスポットライトが当たる場所への施工はご注意ください。

その他

- ・MTシリーズは、お取扱いに十分な注意が必要な製品です。
- ・艶消しの風合いを出すために表面に特殊樹脂を使用していますので、他のシリーズに比べキズ、耐汚染性が劣ります。頻繁に人の手が触れる用途でのご採用はお控えください。
- ・表面の特殊樹脂は柔軟性がありますので、施工時のスキージングなどの圧力で白い押し跡のように見える場合がありますが、ある程度のキズは時間とともに復元します。マイクロファイバークロスで水拭きすると、短時間で復元します。柄が薄い製品や濃色の製品では特に目立ちやすいのでお取扱いにご注意ください。また、硬い物などで表面の特殊樹脂が損傷すると復元いたしませんのでお取扱いにご注意ください。入隅や突合せなどで布を巻かずスキージーを使用する場合は、スキージーに3M™ PTFEテープ5480を巻いて使用してください。
- ・**●三次曲面への施工は避けてください。**過度の加熱により表面の特殊樹脂が変色・変質する場合があります。
- ・表面の特殊コーティングのため重ね貼りが出来ません。重ね貼りをするときは表面をサンディングして平滑にした後に、3M™ プライマー DP-900N3を塗布して貼付してください。フィルム表面にその他のものを接着する際もご注意ください。
- ・強く折り曲げると、表面に折れシワがついてしまいます。施工上の取扱いには十分にお気をつけください。
- ・空気残りが生じた場合に穴あけ処理をすると白く目立つ場合があります。カット時に切断面が白く目立つ場合があります。特に濃色の製品では目立ちやすいので取扱いにご注意ください。
- ・出隅で白くなる場合がありますが、ドライヤーなどで温めると目立たなくなります。過度に加熱すると表面の特殊樹脂が変色・変質する場合がありますのでご注意ください。
- ・VM-MTシリーズは他のシリーズに比べて裂け易いのでご注意ください。特に施工時のフィルムの貼り剥がし、カッターによる切り込みを行う場合に注意が必要です。切り込みがキッカケとなり裂けてしまうことがあります。
- ・VM-MT、PS-MTシリーズは点状の光沢違いが見られる場合がありますので、視線が届きやすい環境などでご使用になる場合はご注意ください。
- ・PS-MT、VM-MT、AE-MT、ST-MT、NU-MTシリーズはPS、VM、AE、ST、NUシリーズのご注意もご確認ください。DW-MTシリーズはFWシリーズのご注意もご確認ください。

- ・本シリーズの上に重ね貼りする場合は、重ねる部分の下側のフィルム表面をサンディングしてから3M™ プライマー DP-900N3を塗布してください。
- ・耐摩耗性を向上した製品ですが、刃物など鋭利なものや強い衝撃では傷がつく場合があります。
- ・フィルム表面に爪やスキージーなどが擦れると、付着した汚れが白い傷のように見える場合があります。水拭きすることで汚れを清掃することが可能です。
- ・見る角度や光の当たり方によっては柄のようなものが見える場合があります。

- ・フィルムへの筆記には、ホワイトボードマーカーをお使いください。それ以外のペンで書いてしまうと消えないことがあります。
- ・マーカー・イレーザの種類により、消去性に若干の違いが出ますので、ご了承ください。特にPWF-500、IWB-600は、以下に挙げる推奨マーカー・イレーザをご使用ください。

マーカー	メーカー	製品名	イレーザ	メーカー	製品名
		ぺんてる		ホワイトボードマーカーノックル中字	プラス
	カウネット	ホワイトボードマーカー丸芯			
	アスクル	アスクルオリジナルホワイトボードマーカー			
	三菱鉛筆	ホワイトボードマーカー中字			

- ・使用初期は、マーカーによって筆記時インクのはじきが生じる可能性があります。数回使用していただく、はじきをなくすることができます。
- ・筆記後長時間放置すると、消去しにくくなる場合があります。筆記後はできるだけ早く消去してください。
- ・下地の平滑性/不陸(凸凹)などが、筆記性/消去性や投影画像の品質に影響を与えますので、施工前に確認してください。
- ・フィルムを伸ばしたり、折り曲げたりしますと表面層が損傷し、その部分はインクが消せなくなりますので、施工時にご注意ください。
- ・フィルム表面にキズを付けたら、凹部にマーカーのインクが入り込み汚れて消せなくなりますのでご注意ください。
- ・一般的な3M™ ダイノック™ フィルムと異なりフィルムが引き裂けやすいのでご注意ください。特にWH-200、PWF-500については、冬の低温時にフィルムが硬く脆くなるので、フィルムに衝撃を与えないでください。また目地処理や折り曲げはフィルムを加熱するなどして張付施工してください。

PWF-500

・PWF-500はスクリーン+ホワイトボード機能を持った製品ですが、WH-111、WH-200よりも消去性は劣ります。スクリーン機能が必要ない場合はWH-111、WH-200を推奨します。

WH-111

・フィルムが硬いので、2次曲面、3次曲面への施工はできません。折り曲げたり、巻き込んで施工した場合、剥離することがありますので、お避けください。・施工可能な下地は平滑な鋼板のみになります。

IWB-600

- ・インタラクティブ機能を使用する場合には、プロジェクターの投影位置とフィルムを合わせてください。デジタルペンでの読み取りが可能な範囲は最大で1220×1890mmです。
- ・IWB-600はスクリーン+ホワイトボード機能を持った製品ですが、WH-111、WH-200よりも消去性は劣ります。スクリーン機能が必要ない場合はWH-111、WH-200を推奨します。
- ・別途カタログをご用意しておりますので、併せてご覧ください。
- ・PWF-500、WH-200は表面を特殊加工しており、3M™ プライマー DP-900N3の初期の密着力が低いのでフィルムを貼り剥がしせず貼付するか、下側のフィルムの表面を研磨した後、3M™ プライマー DP-900N3を塗布してから重ね貼り施工を行ってください。

- ・汚染後長期間経過した場合には、汚れが除去しにくくなる場合があります。

- ・本製品は表面に消臭薬剤を塗工しているため、光線の加減では部分的な光沢の差異が目立つことがありますのでご注意ください。
- ・タバコのヤニや各種汚れの付着した状態では、消臭効果を十分に発揮できません。また、付着した汚れは3M™ ダイノック™ 消臭フィルムでは分解除去できません。水拭きまたは中性洗剤を使用し、表面の汚れを拭き取ってください。
- ・本製品は、表面の特殊加工により通常の3M™ ダイノック™ フィルムに比べ表面に擦り傷が付きやすくなります。から拭きすると表面を傷つける場合がありますので避けてください。
- ・アルコール系クリーナーや溶剤は表面を傷つけたり変質したりする場合がありますので使用しないでください。
- ・施工にあたっては、スキージーに柔らかい布を3回以上重ね巻きするなどしてスキージー痕がつかないように十分に気をつけて施工してください。

- ・拡散反射を利用するため、狭い空間ほど効果が期待できます。その反面、大空間のような場所では効果が小さくなる場合があります。
- ・条件や環境により、施工空間の明るさ感および床面照度を向上効果の表れ方は異なります。

- ・通常のダイノック™ フィルムとは施工性が異なります。事前にご確認ください。
- ・表面エンボスの形状によっては貼り付けに適さないシリーズがあります。またエンボスのくぼみには密着しません。
- ・不燃認定は取得していません。・表面どうしが密着しやすいのでご注意ください。
- ・空気抜けが均一にできないので、むらになって見える場合があります。
- ・下地のフィルムが濃色の場合には、空気抜けのむらが見えやすい場合があります。

- ・施工後の下地からの腐食は、フィルムでは防ぐ事はできません。
- ・錆びて表面の鋼板が腐食しているものや、鋼板内部から水分が出てきているような扉には施工しないでください。

- ・EXシリーズの表面はフッ素樹脂加工されておりますので本シリーズの上に重ね貼りする場合は、重ねる部分の下側のフィルムの表面をサンディングしてから3M™ プライマー DP-900N3を塗布してください。フィルム表面にシーリング剤を使用する場合は、フィルム表面をサンディングし、シーリング剤の使用法に従って使用してください。
- ・**●三次曲面への施工は避けてください。**フィルムに伸縮性がないのでひずみがかかったりシワを伸ばして貼り付けると、時間とともに筋状に膨れてくる場合がありますので、貼り始めの位置決めを正確に一回で行ってください。
- ・ジョイント時の柄合せについては、対象となるダイノック™ 製品の「突き合わせ時、柄合せ注意」をご確認ください。
- ・施工の詳細とその他注意事項については、取扱説明書をご参照ください。